

I 調査研究の概要

1. 調査研究の背景・目的

医療の国際展開については、日本が持つ医療技術や健康維持のノウハウを海外の国々に展開し、国際貢献につなげることを目的として、政府は成長戦略の柱に「医療の国際展開」を位置づけている。また、平成26年3月、国際協力等の観点から、海外において医療の普及又は質の向上に資するための医療施設の運営に関する業務を、医療法人の附帯業務とする通知の改正が行われたところである。

こうした状況を踏まえて、諸外国の医療法人制度の内容等について調査研究を行うことにより、今後、医療法人が国際展開を進めていく中で、現地法人の設立や出資等について、円滑・効果的に実施できるよう支援することを目的とする。

2. 調査研究の概要

第一に、医療法人の国際展開について、先行事例を研究することによって、国際展開のポイントや、必要な情報収集の方法等について調査する。

第二に、国際展開にあたり必要となる対象国の制度調査について、医療保険制度や医療マーケットの調査は他の研究で充分に行われているため、本研究では、諸外国における医療機関を運営する法人制度について次の3点の調査を行う。

- ① 諸外国における医療法人に類する、非営利で病院を運営する法人（自治体、株式会社以外の医療を行う法人）制度の有無・制度内容
- ② その法人の数・規模・税制・補助金
- ③ 実際の事業内容（病院以外に実施している事業があるか）・経営状況などの調査研究を行う。

なお、調査対象国は、アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・中国を想定して行う。新興国に関する調査は他の研究が豊富なため、本研究では、参照すべき情報を紹介することと定める。

3. 調査研究の体制

本研究は、企画検討委員会（図表1）を設置し、企画検討委員会における討議にもとづき実施した。海外の制度調査は、株式会社フジタプランニング及びメディカル・マネジメント・プランニング・グループの協力及び資料提供を得た。

図表1 調査研究の推進体制

○企画検討委員会委員（五十音順、敬称略） ※企画検討委員会委員長 青木恵一（※）（税理士法人青木会計代表社員、MMPG 副理事長） 池上直己（聖路加国際大学 臨床疫学センター（公衆衛生大学院設置準備室） 特任教授） 熊崎博司（社会医療法人財団慈泉会相澤病院 本部 経営戦略部 国際課 課長） 久保田亨（社会医療法人北斗 北斗病院 事務部部長） 三原 眞（日揮株式会社インフラ統括本部インフラプロジェクト本部ヘルスケア事業部部長）
○オブザーバー 厚生労働省医政局医療経営支援課
○研究班（事務局） 統括責任者：川原 丈貴（榊川原経営総合センター代表取締役社長、公認会計士・税理士） 研究員：田川洋平、米本朱美、山川光成、神林佑介、薄井和人

調査研究の実施状況は下記のとおりである。

企画検討委員会

第1回：2017年2月10日

第2回：2017年3月24日

ヒアリング

2016年10月26日：一般財団法人海外邦人医療基金

2016年11月4日：アイテック株式会社

2016年11月10日：日揮株式会社

2016年11月14日：社会医療法人財団慈泉会

2016年11月24日：社会医療法人北斗

2016年11月25日：セコム医療システム株式会社

2016年11月29日：一般社団法人 Medical Excellence JAPAN

2016年12月15日：株式会社フジタプランニング

2016年12月16日：社会医療法人大雄会

2017年3月6日：経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課

その他、海外進出支援を行っている都市銀行1行、地方銀行1行に対してもヒアリングを実施した。